

## 2017-2018 年度クラブ運営基本理念と方針について

福岡東南ロータリークラブ  
会長 松尾新吾

2017-2018 年度（以下、今期とする。）R I イアン H. S. ライズリー会長は、「ロータリー：変化をもたらす」をR I 会長テーマとして提言されました。

今更申すまでもなく、国際社会もその一員である日本も、政治、経済、安全保障などなど目まぐるしく変動しています。こうした状況にダイナミックに対応し、適時適確にロータリークラブもしくはロータリアンとして対処し、その中で充実感を得てほしいと提唱されています。

活動の重点項目としては、

- ① クラブのサポートと強化
- ② 人道的奉仕の重点化と増加
- ③ ロータリー公共イメージと認知度の向上

を掲げ、それぞれに取り組むべき項目を具体的に指示されました。

これを受けて、我が第 2700 地区の安増ガバナーは「拡がりは変化をもたらす」として、

- ① 会員の拡がり
- ② 奉仕の拡がり
- ③ 対外広報の拡がり

に努めてほしいと提言されました。

これらの提言と昨今の世界情勢をも踏まえ、2017-2018 年度東南ロータリークラブ会長方針としては、「継続性の重視、変化への対応、そして社会貢献」といたしたい。

「継続性の重視」とは、110 年を超えるロータリーの歴史と伝統の根底には、高潔な倫理と哲学に支えられ、脈々と受け継がれてきた理念が厳然と存在しています。不変の尺度と言ってもよいと思います。

例えば「四つのテスト」などです。これらをキッチリと受け継ぐことが私たちの使命であると思います。

「変化への対応」は、まさに今期のキーワードです。現在（いま）、私達が存在する環境の中で、何がどのように変化しているのか、またそれらにどう対応すればよいのかが問われています。

ガバナーが提唱された長期計画やCLPの具体的な実施に向けた活動が求められます。

次に「社会貢献」ですが、いわゆる「社会奉仕」とはほぼ同義と思います。しかし「貢献」の方がやや広いように感じています。

近江商人の「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）」の中の「世間よし」の職業倫理はその一例と思います。

社会（世間）のお役に立っているかどうかに関心を馳せ、利他の精神で事に当たるということが、ロータリーの基本理念に最も叶うことだと思います。

以下、取り組むべき事項の一部を例示しますと、

- 社会に貢献することを最優先事項として取り組む
- 「長期計画委員会」もしくは「長期計画委員会準備室」を立ち上げ、検討項目、検討期間を明示する
- RI会長の指示でもある会員増強を達成する
  - ・ 会員純増2名以上
  - ・ 女性会員純増2名以上
  - ・ 40歳未満の会員純増2名以上
- 当クラブの良好な雰囲気（自然体でかつアットホーム）を維持向上させる
- 各委員会で具体的取組事項を定め、実施する
- 2020年の50周年対応に取り掛かる
- その他

以上、各自、各委員会、充実感をもって取り組み、当クラブ全体の成果となるよう努めましょう。